



しおん

013

秋号

INDEX

- ◆ 特集 認知症について
- ◆ コラム わたしの趣味
- ◆ インフォメーション
地域医療実習の実施
当院に勤務する看護学生の声
部署紹介(地域連携室)
医師の紹介／行事食の紹介



地域医療実習を行いました



カニューレ交換やバイタルサイン測定など、見学だけでなく実際の医療現場を体験させていただきました。また、医師看護師スタッフの皆さんが、一人一人の患者さんに時間をとって質問しやすい雰囲気の中で丁寧にお話しされている姿は実習期間を通じて大変印象に残っています。今回の実習で感じたことは、将来医師になっても大切にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

岡山大学医学部 寺迫結子

藤井病院の皆さん、5日間本当にお世話になりました。ただ見学するだけでなく、色々なことを体験させていただいて、楽しみながらたくさんのお話を学ぶことができました。チーム医療ということで、患者さんに対してたくさんの職種が互いに連携しながら治療に当たっていることを実感することができて良かったです。また医療従事者の皆さんが患者さんと関わっているところを見て、患者さんから信頼されている、愛されているというのがよく伝わってきました。私も、将来そういった周りから愛される医師になりたいと思いました。本当に貴重な経験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

岡山大学医学部 井上遥平

当院に勤務する看護学生の声

私たち学生は准看護学生5人と、第二看護学科学生5人の計10人が現在藤井病院に在籍しています。年齢も様々で10代の学生から40代の学生まで在籍しています。准看護学生は看護助手として、第二看護学科の学生は准看護師としてそれぞれの病棟で業務に従事しています。大変な事もありますが、患者様と接することができるので、学習した事をすぐに現場で実践することができます。



学生が藤井病院に勤める強みは「質問しやすい事」です。看護助手の方々はベテランの方ばかりで、経験に基づいた技術や患者様との接し方について多くのことを教えてもらえます。看護師の諸先輩方及び上長も、学生を経験してきており、学生の事をとても気にかけて下さっています。学生が疑問に思ったこと、不安に感じることを一緒に解決してくれます。その中でもとてもいいなと思うことは、「じゃこの時はどうしたらいい?」と新たな視点から質問してくれるので自分で考えて学習に結びつけることができます。さらに医師も学校で教鞭をとっている先生方が多く、質問すればかなり深い事まで教えてもらうことができます。

この様に藤井病院に在籍する事で学校だけでは学べないこと、また、患者様と接する中で、学校での学習の重要性に気付くことができるので在籍してよかったと思います。

藤井病院の一職員として諸先輩の力を借りてではありますが、患者様が安心して過ごせる環境を作っていきたいと思っています。



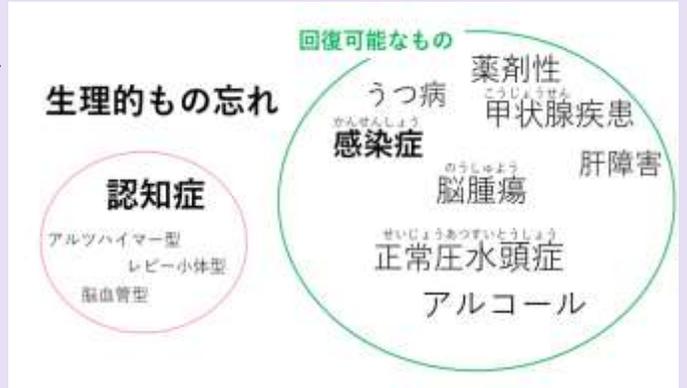
★認知症とは

認知症とは、何らかの病気によって脳のはたらきが低下し、日常生活や仕事に支障をきたした状態を指します。自然な老化に伴う変化と認知症では、脳のダメージの程度、症状、生活のしづらさが明らかに違います。

2018年時点で高齢者の約7人に1人は認知症であり、2025年には675～730万人に増え、高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。

★認知症と紛らわしいもの

認知症の症状に思えても、実は違う病気ということもあります（右の図）。改善が見込める病気のこともあるので、気軽にかかりつけの先生に相談しましょう。



★認知症ともの忘れの違いって？

	認知症	年齢に伴う心配いらないもの忘れ
もの忘れの内容	自分の経験した出来事を忘れる	一般的な知識や常識を忘れることが多い
もの忘れの範囲	体験したこと全体を忘れる 最近の出来事を思い出せない	体験の一部を思い出せない 覚えていたことを思い出せない（ど忘れ）
ヒントを与えると	ヒントでも思い出せない	ヒントで思い出せることが多い
記憶障害の進行	緩徐に進行していく	何年経ても進行・悪化していかない
日常生活	支障あり	支障なし
もの忘れの自覚	自覚していない（病識なし） 深刻に考えていない	自覚しており、必要以上に心配する
判断力	低下していくことが多い	低下はみられない
学習能力	新しいことを覚えられない	学習する能力は維持されている
日時の認識	混乱していることが多い	保たれていることが多い
感情・意欲	怒りっぽい、意欲に乏しい	保たれている

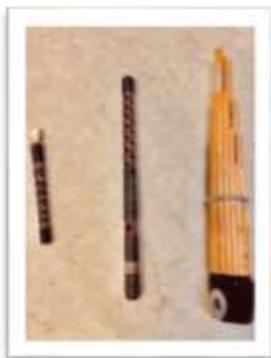
★予防

①知的活動（新聞を読むなど）②運動（有酸素運動）③コミュニケーション④食事（DHA、中鎖脂肪酸、ビタミンB、ポリフェノールなどバランスよく）⑤睡眠

コロナ禍では「密」を避けるために外出の自粛が求められました。その結果、運動不足、コミュニケーション不足、知的活動による刺激不足が起き、認知症の進行を遅らせたり、発症を予防したりするには厳しい状況でした。

生活習慣病（高血圧、糖尿病など）もリスクです。いつもの薬をちゃんと飲んだり、散歩をしたりするなどできることから認知症の予防をしていきましょう♪

わたしの趣味 episode2



不思議なご縁で雅楽を始めました。

雅楽は世界最古のオーケストラとも言われ、馴染みがあるものでいえば神社で結婚式をあげる際に聞こえる音楽です。主な楽器を紹介します。写真左から箏（ひちりき）、龍笛（りゅうてき）、笙（しょう）と言います。それぞれ「地」「空」「天」を表しており、音が重なり宇宙が作られると言われてます。私は箏をしていますが、楽譜や音も分からないことだらけで楽しいです！まずは音が出せるように頑張ります。

余談ですが、格闘技も趣味で6～7年しています。

作業療法士 唐川粧子

部署紹介（地域連携室）



当院の地域連携室は地域の医療機関との窓口として、外来、入院患者様の医療・福祉的な相談窓口として医師1名・看護師2名・医療ソーシャルワーカー1名で構成されています。少ない人数の部署ですが、他職種での連携を図り、患者様がより安心して生活が送れるよう皆様の架け橋になれる連携室を目指しこれからも精進していきたく思います。

患者様やそのご家族はもちろんのこと、医療機関・介護・福祉に関係する方々がお気軽にお声がけ頂き、地域の皆様が医療と社会福祉を十分に受けて頂くことができるようお手伝いさせて頂きたいと思っています。医療や介護でご不安なことがありましたらいつでもお声がけください。

半年間当院へ来てくださっている先生



やまおか きみとも

山岡 主知

岡山県出身で、内科医をしている山岡主知と申します。鞆の浦の美しい風景と海の幸に惹かれてやってまいりました。半年間という短い間ですが、全力で頑張りますのでよろしくをお願いします！



いしだ ともはる

石田 智治

はじめまして、石田智治と申します。総合診療科として、「こどもから大人まで」「内科疾患から外科疾患まで」「超急性期から慢性期まで」、様々な状況に対応していきます。6ヶ月という短い期間ですが、どうぞよろしくお願いたします。

行事食の紹介

「秋のイタリアンランチ」



～Menu～

- ・ナポリタン
- ・旬魚のバジルソテー
- ・グリーンサラダ
- ・ズッキーニの
コンソメスープ
- ・ティラミス

広報部より

当院の広報誌「しおん」の表紙を随時募集しております！写真や、書、絵などあなたの素敵な作品を送っていただけると嬉しいです。

たくさんのご応募お待ちしております♪

連絡はこちらから→
(もしくは病院受付まで)



おまちしています

医療法人 紫苑会 藤井病院
〒720-0201 広島県福山市鞆町鞆323番地
TEL：084-982-2431 FAX：084-982-0781
<http://fujii.dr-clinic.jp/hospital/>



鞆の浦Blog
<http://fujii.dr-clinic.jp/hospital/blog>



☆ 職員募集：看護師、准看護師、看護補助者、医療事務 随時募集中（詳しくは病院までお電話下さい） ☆